

あぷろうち

～ approach ～

日本労働組合総連合会
群馬県連合会（連合群馬）

〒379-2166
群馬県前橋市野中町361番地2
（群馬県勤労福祉センター2F）
TEL 027-263-0555
FAX 027-261-0549
Eメール info@gunma.jtuc-rengo.jp
URL http://www.rengo-gunma.gr.jp/

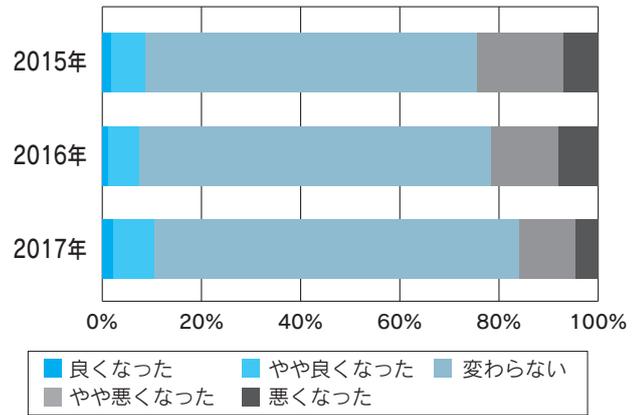
2017年7月号
No.258

発行人 高草木 悟
編集人 田村 英樹

2017県民意識調査1万名まとまる 心配ごとと困りごと「老後」「健康」が増加傾向

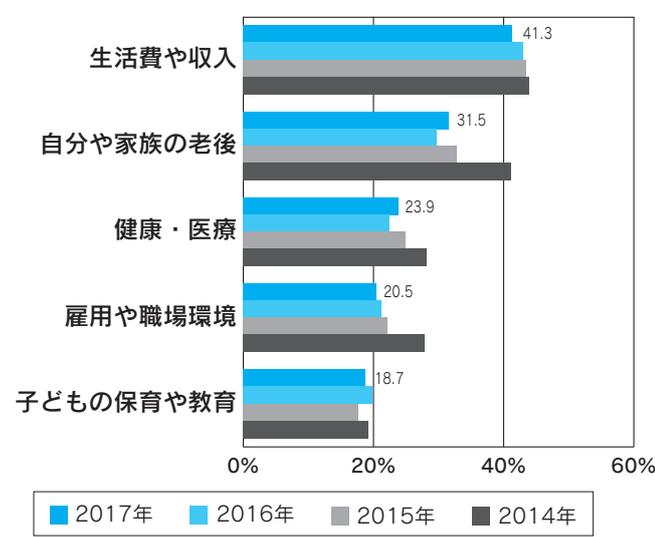
産別・地協、関係団体にご協力をいただき意識調査がまとまりました。集計結果を分析し、「政策・制度要求と提言」として取りまとめ、8月下旬に大澤知事に提出する予定です。

1年前と比較し暮らしやすくなったか



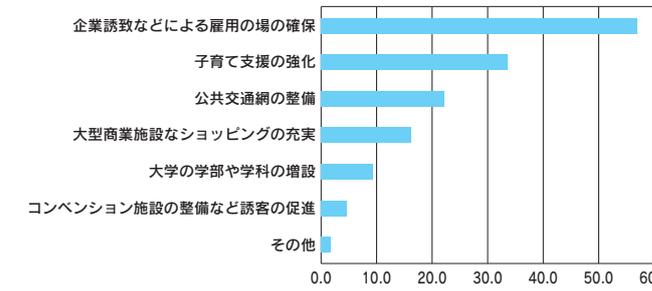
「良くなった層(良くなった・やや良くなった)」は微増で、「悪くなった層(悪くなった・やや悪くなった)」が若干減少した。
変わらないとする層が減少傾向から増加に転じています。

心配ごと・困りごと



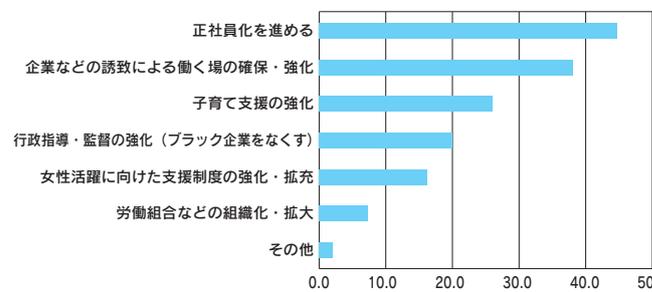
「自分や家族の老後」「健康・医療」が減少傾向から増加に転じています。

県外への若者流出阻止の対策で必要なもの



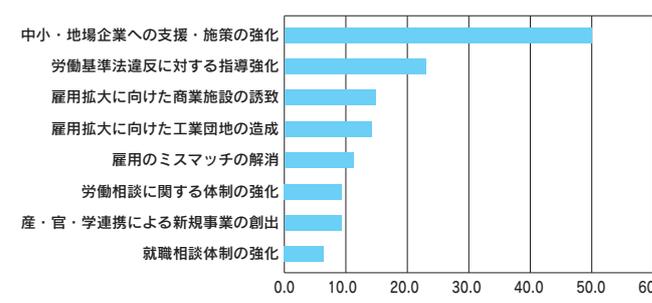
「企業誘致などによる雇用の場の確保」を半数以上の方が選択しており、次いで、「子育て支援の強化」「公共交通網の整備」となっています。

雇用の安定・定着に向け有効と思う対策



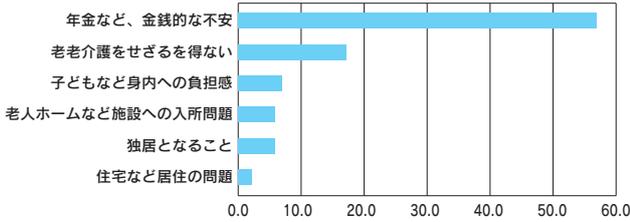
「正社員化を進める」が半数弱、次いで、「企業などの誘致による働く場の確保・強化」で4割弱となりました。また、「子育て支援の強化」を求める声も寄せられています。

行政が取り組む効果的な雇用安定・定着施策



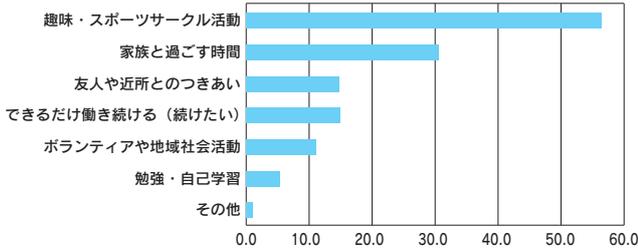
行政に対する要望では、「中小・地場企業への支援・施策の強化」をほぼ半数の方が望んでおり、ブラック企業の存在が明らかになっていることや厚生労働省の取り組みなどからか、「労働基準法違反に対する指導強化」を望む声が2割を超えています。

老後不安の要因は



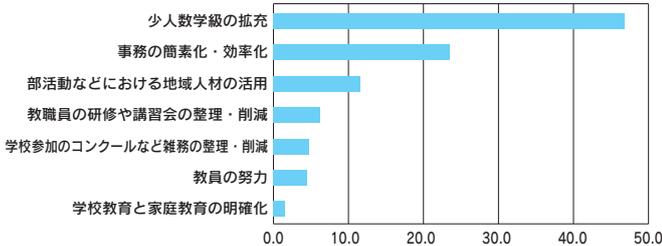
半数以上が「年金など金銭的な不安」を抱えており年金制度などに対する不安や不満がうかがえます。

定年後の生きがいとしたいことは



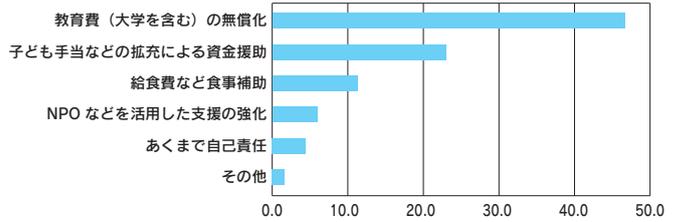
半数以上の方が「趣味・スポーツサークル活動」を生きがいとして感じており、次いで、「家族と過ごす時間」を選択しています。「友人や近所とのつきあい」と「できるだけ働き続ける(たい)」がほぼ同数となりました。

教職員が生徒と向き合う時間の確保策は



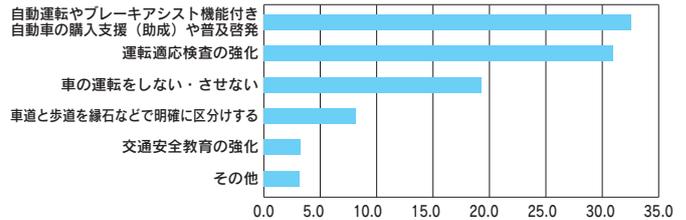
「少人数学級の拡充」が他の項目の倍近い要望となっています。また、「事務の簡素化・効率化」を求める声が2割程度あり、教職員の事務処理を心配する県民が少なからずいることがわかります。

貧困の連鎖など子どもの教育機会の確保策は



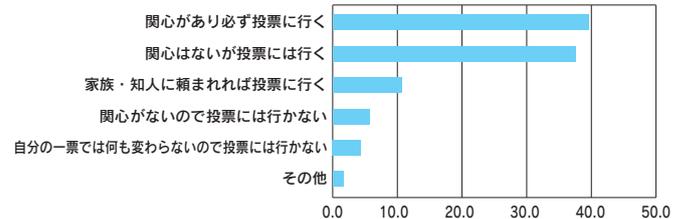
教育機会の確保は、金銭的な課題と認識されていることが明らかになりました。特に「教育費(大学を含む)の無償化」を半数近くの方が選択しています。次いで、「子ども手当などの拡充による資金援助」を求める声も2割強ありました。

高齢者の交通事故防止で有効な対策は



「自動運転やブレーキアシスト機能付き自動車購入支援や普及啓発」を求める声が多くあげられており、次いで「運転適応検査の強化」が続いています。また、「車の運転をしない・させない」は2割弱と自家用車を使用せざるを得ない本県の交通事情が浮き彫りになっています。

政治・選挙に対するあなたの想いに近いものは



自発的に「投票に行く」と回答した人は8割程度となっていますが、昨年の参院選は実際の投票率では50.51%であり、実際の投票行動に結びついていないことがうかがわれます。 ※質問・設問は抜粋です。 ※詳細は後日、HPに掲載します。

衆議院議員 宮崎タケシのマジメひとすじ No.9

2017年も早くも半分が過ぎました。共謀罪法案に加え、森友学園・加計学園の疑惑など政権中枢にかかわるスキャンダルが相次いだことから、森友・加計追及の先頭に立つことになった私にとっては、まさに激動の半年間でした。

今国会では初当選以来、初めて安倍総理に直接質問する機会をいただき、3度にわたって「対決」しました。特に国会で最も注目度が高い「総理入り・テレビ入り」(総理出席でテレビ中継がある)の質疑に2度も起用していただいたことは、大きな経験となりました。



政策ネタでの質問は実はそれほど難しくありません。しかし、政府・与党から容赦ない反撃を浴びるスキャンダル追及は、向こう傷、返り血を覚悟の死闘となります。いわば「神権での決

闘」ともいえる大一番でしたが、おおむね高い評価をいただき、責任を果たせたことにほっとしています。

森友・加計問題を通じ、質だけではなく量的にも、過去に経験のない多数の質疑を重ねることになりました。普通は多くても週1回程度ですが、一時は週4回という驚異的な回数をこなし、体調に異変を感じたこともありました。

多くの若手議員が一丸となって粘り強い質疑を行った結果、安倍内閣の「お友達えこひいき」「隠蔽」「強引な政権運営」などの体質が国民の目にさらされ、東京都議選における自民党惨敗につながりました。

一方、民進党の党勢が低迷しているのも事実。安倍政権の支持率低下も、民進党の浮上にはつながっていません。旧民主党時代と同じスタイルでは期待感を取り戻せません。若手議員を中心に、徹底した党改革を進め、真に国民の信頼を得られる民進党を新たに作り上げていく所存です。(7月7日記)

ユニオンガールズ
TALK
No.9

からさわ しのぶ
唐澤 忍さん

連合群馬女性委員会 幹事
日教組 群馬県教職員組合 書記次長



一男女共同参画を考えると

今は女性の管理職を増やそうと数字ばかりに拘っていますよね。昔から思うのは何事も性別で分ける必要もなく、例えば力がある女性もいれば、力がない男性もいる。環境の変化は出産・育児だけではなく、病気や体調が悪かったりする人もいます。家庭でも仕事でも、向き不向きもあるし、そこは特性や能力を活かし周りの皆が理解しながら取り組めればいいですよね。“男女平等参画”という言葉がなくなるくらいに共存できる社会ができるのが理想でしょうか。

性別ではなく、個人の特性を活かして取り組めれば

一県教組の専従までのお話し聞かせてください

実は教員になる前は世界各国を回り、今では累計60回以上の旅をしています。異文化を体験したり、世界中の人々との関わりを持つことで精神的にそして視野も広がりました。あまりの“放浪ぶり”に心配した教員でもあった母親が、そろそろ定職に…。との助言から、中学校の教師を目指しました。採用1年目より担任を持つことになりましたが、新米だろうと容赦はありません。部活動や生徒の相談に乗った後、次の日の授業の教材づくりや教室に戻ってデモ授業。連日深夜の帰宅で、疲労もピーク。運転中に踏切の手前で、遮断機にぶつかり、目の前を電車が通り過ぎて「ハッ」と我を取り戻した恐ろしい経験もしました。そんな激務の中、周りの先生のサポートや愛あるご指導を受けながら働くことができ、特別な声掛けや取り組みがなくても、自然に組合員加入し、そして労組役員に。今年の4月から専従として群馬県教職員組合の書記次長に就任しました。

一就任されてどうですか？

女性専従ということもあり女性部の担当として、全国や関東ブロックで開催される会議や研究会への派遣や、県教組で主催する研究会や、各種の行動、イベントに向けた会議などを行っています。また、中・北毛総支部長でもあり、昨年より支部女性部が計画する行事となった「フラワーアレンジメントと茶和会」では、気軽に親睦を深めるイベントとなるように、組合員はもちろん、これまでの人脈をいかしつつ後輩など加入していない教職員への参加も促し、楽しみながら日頃の情報交換を行い、魅力ある組合活動のPRにも努めています。

一先月の先進企業訪問どうでしたか

会社は部署があり、適材適所で改革を行っていることが分かりました。例えば職場内での面談を行い、職場環境、働き方の改善を目指し、業務改善を行いながら質が低下しないように取り組んでいることに関心を持ちました。企業はなんといつても利益を出さなければ、企業の存続が危ぶまれる。ここは教職員とは違う目線です。

自分たちの職場の働く権利や制度は、これまでの諸先輩方の長年の努力で整っているのは事実です。その制度を当たり前だと思わず、今起きている、長時間労働の問題や事務効率化に係るIT化など問題解決のために、教職員が一丸となって改革を進めて行きたいです。

一お休みの過ごし方は

動物と子どもが好きで、家では愛猫と過ごし、海外でもスキューバをして魚やイルカに癒やされていました。中学校の教員になったのも、子どもから大人に成長する果敢なこの時期の子どもと関わりたかったということがあって…。でも今はなかなか長期の休みは取得しづらいので、自宅の近くの乗馬クラブに行き、馬に乗っています(写真下)。馬はとても利口で乗り手の力量を判断して動きます。よく見ています。なんか生徒と一緒にだなあ、なんて思って奥深さがたまらないです。まあ、かわいいというのが一番なのですが…。

そして、9月には連合関東ブロックチャンピオン視察団に参加させていただきます。またいろいろな経験してきますね。

Listener 吉田 香苗

※トップ写真は教え子の卒業式に愛猫「ラムセス」とのーコマ



“ユースラリー関東版”に向け思い一つ!

☆埼玉青年委員会と交流☆

6月17日(土)~18日(日)水上ホテル聚楽において、連合群馬と連合埼玉の青年委員会は組織の枠を越えた仲間づくりを目的に交流会を開催し、役員11名が参加しました。

初めに、青年海外協力隊群馬県



埼玉青年委員へ上毛かるたで群馬の魅力PR

OB会の山口朗事務局長(東電労組)から、南米へ赴任した際の体験談を伺い、「見聞を広めることは自分自身の大きな財産となる。積極的に色々なことに取り組んでほしい」とアドバイスを受けました。その後、『上毛かるた』やパラスポーツ『ボツ



チャ』で交流を深めました。

また、今後の青年活動の更なる活性化に向けて、青年組合員の行事への参加率向上や、近畿ブロックが開催している青年組合員の交流・学習の場である「ユースラリー」について、関東ブロックでの実現を目指した意見交換を行い、課題を共有しました。

2日間の交流を終えて群馬の加藤青年委員長から「自分たちとは違う視点からの意見を聴け、大変有意義だった。関東ブロックユースラリーを実現するには、いろいろな問題をクリアしなければならないが、埼玉と群馬でガッチリと協力して進めて行きたい」と挨拶がありました。



思いを一つに握手(左:佐藤委員長 右:加藤委員長)

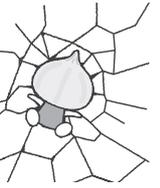
過剰貸し付けで「多重債務問題」再燃

銀行だから「あんしん」の銀行カードローンは間違い

! TVCM・WEBで大量宣伝
WEBで手続き完結
即日審査(最短30分)
見かけの金利が低い など

借金が多額に?!
消費・浪費が加速?!
元金がなかなか減らない

就業者の約6人に1人は消費者金融を利用!
利用者の約3人に1人は返済が延滞!!
(出典:日本信用情報機構 17年3月現在)
自己破産件数が2016年に増加に転じる!!! (出典:司法統計年報調査)



「クラシノソコアゲ実現」の原点である、組合員の生活防衛を第一に
連合関東ブロックと中央労働金庫は統一声明を出し取り組みをすすめています!

- ☆若年者(とりわけ新入組合員)に対して「多重債務問題」について中央労働金庫と連携し学習会を開催するなどカードローン等について商品性の違いや賢い利用法について学習機会を提供する
- ☆既利用者については、可処分所得の向上を目的に中央労働金庫と連携し、借り換えの試算を行い、家計改善が図られる場合は借り換えの提案をする



カードローンの点検をしましょう

毎月の返済額だけで考えてはダメ!!

点検項目は3つ!!! **1 金利** **2 残高** **3 総返済額**

借り換えとは 高い金利で組んでいたローンを、より低い金利で組み直すなど、有利な条件で借り入れし直すこと。総返済額の削減(利息の節約)ができます。

中央ろうきんカードローンと比べてみよう!!

金利などは <http://chuo.rokin.com/>
こちらから検索



見直し効果の一例

【借換事例】
・年齢40歳(既婚)・年収550万円
・カードローン残高250万円を借換した場合

現在の支払い

借入残高	250万円
金利	年15.00%
返済期間	6年7ヶ月
毎月返済額	50,000円
総返済額	3,947,730円

借換え効果
約110万円

ろうきんカードローン(マイプラン)

借入残高	250万円
金利	年3.875%
返済期間	6年10ヶ月
毎月返済額	35,000円
総返済額	2,846,628円

※上記計算例については金利シミュレーションとなりますので、実際の金利・返済額とは相違します。※マイプランは変動金利型ですが、金利シミュレーションは全期間金利が変動しないことを前提に計算しています。※金利計算は元利均等月賦返済方式で計算しています。※マイプランの実際の返済額は、利用限度額(種別額)に応じた定例返済額となります。※金庫ローンからの借換は対象外となります。

借入している人は中央ろうきんへ相談!

全労済は60周年を迎えました

~これからも組合員とともに全労済運動の前進を~

全労済は昨年9月8日に創立60周年を迎え、5月26日には新会館落成式、終了後には創立60周年記念式典新会館落成記念レセプションが開催され、全労済関係者など250名が参加し、連合群馬より富澤会長から祝辞を述べました。



新会館玄関前でテープカット



これまでの敷地に新会館建設。1階に共済ショップ前橋店を併設



レセプションで富澤会長祝辞

全労済では **自賠償共済** を取り扱っています!

ご契約車両を運転中に、他人にけがをさせたり、死亡させたりした場合の対人賠償事故を補償します。

自賠償共済とは?

自動車損害賠償保障法に基づき、道路を走るすべての自動車(二輪車を除く)、軽自動車に加入が義務づけられている共済(保険)です。

年料	標準 3000円
上付	標準 1300円
任意特約料	別添に示す通り 0300円~750円

もし自賠償共済(保険)に加入していない?

未加入で運行した場合、過失により罰せられます。

1. 1ヶ月間の **免許停止** (再発防止) (自賠)

2. 1車、**懲役**と50万円以下の **罰金**

原付・バイクをお持ちの方は特に注意!

車検制度のない排気量250cc以下のバイクは、自賠償共済(保険)の各保険項目に特に注意が必要です。早一度、各保険額にご確認ください。

10 以上 月

マイカー共済とあわせてのご加入をおすすめします。